

公益財団法人 川崎市文化財団 情報誌 ● かわさき・アートニュース

KAWASAKI ART NEWS

2016.10

Vol.244



THE KAWASAKI FOUNDATION

CONTENTS [目次]

02 特集

かわさきジャズ2016

04 音楽

ミューザ川崎
シンフォニーホール

07 歴史・文化

東海道かわさき宿交流館

10 美術

市内ギャラリー情報

13 演劇

アルテリオ小劇場

14 映画

アルテリオ映像館



かわさきジャズで異色共演!

ジャズピアニスト

ヴァイオリニスト

対談: 山下洋輔 × 大谷康子

Yosuke Yamashita

Yasuko Ohtani

2016
11.11 Fri—20 Sun

Kawasaki
Jazz 2016

Jazzは
very cool
m橋を
架ける
in re
nces

Kawasaki Jazz 2016

かわさきジャズで異色共演

ジャズ界の巨匠と、各方面で活躍する人気ヴァイオリニストによる驚異のドリーム・デュオ。

対談: 山下洋輔 × 大谷康子

2015年よりスタートしたジャズ・フェスティバル【かわさきジャズ】。多様な文化が息づく川崎という街にとって、様々なジャンルを源流とするジャズは、ぴったりだ。今年は、「ジャズは橋を架ける」をテーマに、時代や国境を越えた様々なプログラムが川崎市内のホールやライブハウスで11月11日から20日まで10日間にわたって、約40公演行われる。本フェスティバルのグランド・フィナーレ「ジャズtravelsワールド」で共演を果たすジャズ界の巨匠・山下洋輔と、各方面で活躍する人気ヴァイオリニスト・大谷康子に、2人の出会いや、音楽祭への意気込みについて話を聞いた。

— 山下洋輔さんと、大谷康子さんの出会いを教えてください。

大谷康子: 去年、私のデビュー40周年記念コンサートで、ご一緒していただいたのがきっかけです。コンサートを企画した時に、今まで自分がやってきたこととは強烈に違う世界に連れて行って下さる方と一緒に演奏したいなと思って、お願いしました。

— ご一緒されて、いかがでしたか？

大谷: 音楽というのはどんなジャンルであっても、何かを人に伝えるという意味では根本的には同じです。でもクラシック音楽にはまず

大前提として楽譜がありますし、その通りに弾くということをずっとやってきたんですが、山下さんは「何をやってもしゃいいんだよ」って何度もおっしゃって。

山下洋輔: 楽譜はあんまりありませんよって、私からはお伝えしました(笑)。

大谷: はじめは、どうしようかって思いました。「こんなことをしたら恥ずかしいかな」とか、「変だと思われるかな」とか色々考えてしまって。でも山下さんが「何をしても良い」って何度もおっしゃるので、「じゃあもう何でもやっちゃえ」と思って。そうすると、すごく自分自身を解放することができました。

— 大谷さんが殻を破れるようになるまで、どうやって信頼関係を築いていかれたのでしょうか。

山下: 大谷さんがどんな方なのかは、僕を選んで下さったことで大

体分かりますので(笑)。「Chiasma」という僕の作品をリクエストしてリハーサルでやってみました。この曲は本当に短いテーマしか決まっていなかったんです。残りの90%はフリーで演奏するというものなのですが、大谷さんは平気で弾いていました(笑)。

大谷: 最初「Chiasma」の楽譜を見た時は、本当に数行だけだったので、「え？これだけでどうやるのかな」って思いました。

山下: でも、他の楽器には絶対に出せないようなヴァイオリンならではの響きや特性がちゃんと表現されているんですね。

大谷: なので、私も自分ができる技術を駆使して、あらゆる奏法を入れて弾いたんです。

山下: そういう演奏を聴いて嬉しかったですね。即興演奏の相棒がいるのと同じですから僕も思う存分できました(笑)。

— 山下さんと共演してから、大谷さんのその後の演奏活動に影響はありましたか？

大谷: 「自分は何を表現したいのか」ということを、すごく自問自答するようになりましたね。9月には、Jazzと同じ会場のミューザ川崎でモーツァルトのヴァイオリン協奏曲を弾きますが、今回は山下さんに触発されて、既成のカデンツァではなく、自由に弾きたいと思うようになりました。

山下: それはすごい！大谷さん、完全にジャズマン、あるいは作曲家になりましたね(笑)

— 大谷さんは、山下さんと前回初めてご一緒されてどんな音色だと思われましたか？

大谷: 音色の美しさに驚きました。今までは、山下さんのことを、とてもエネルギーで自由な演奏をされる方だと思っていました。もちろ



ん、その点も素晴らしいんですが、あんなに綺麗な音で、すごいロマンティックな曲を弾かれるなんて。しかも、そんな山下さんのすぐ側で弾くことができて、鳥肌が立ちっぱなしでした。

山下：今回も、面白いことになりますよ。

— 山下さんは、大谷さんの音色についてどう思われましたか？

山下：大谷さんの音色というのは、大谷さんの声そのものです。それがヴァイオリンを通じて出ているなと思いました。

— 山下さんも、子供の頃ヴァイオリンを習ってらっしゃったんですよね。

山下：もう今は音も出せないと思いますけどね。

（ここでヴァイオリンを弾く格好をしてみせた）

大谷：今のヴァイオリンを弾くポーズ、角度がとても素晴らしいですよ。

山下：それは嬉しい。エアー・ヴァイオリンだ（笑）。

— 今回のかわさきジャズのステージは、山下さんと大谷さんの他に、ゲストに能楽囃子大倉流大鼓の大倉正之助さんも参加なさいますね。どんなプログラムになりそうですか？

山下：大倉さんともデュオをやった事があります。三人でどうなるか、とても楽しみです。

— 雅楽と、クラシックと、ジャズは拍子の取り方も楽譜の書き方も全然違います。

どうやって3人で意思疎通を取られるのでしょうか。

山下：音ですね。この人がこういう音を出す。それに対して僕はこういう音を出すのかって、それだけです。こんな音を出せという決まりはない。

大谷：まさに会話と同じですよ。私も以前、日本伝統打楽器奏者の仙波清彦さんと一緒にバッハのアダージョを演奏したことがあるんですが、楽譜とは違う拍子の取り方で音を出されるんですよ。そうすると、その音に影響されて私の演奏もどんどん変化していくんです。だから、いつものバッハと全然違って面白かったですね。

山下：邦楽の人と一緒にやると、独特の“間合い”が面白いですよ。

— 今回のコンサートは、ファジル・サイさんも出演されますが、山下さんはファジル・サイさんがプロデュースされているトルコの音楽祭にも出演されたことあるんですよね。

山下：ファジル・サイさんの名前は、佐渡裕さんを通じて知りました。佐渡さんが、ファジル・サイさんと僕の両方をイタリアのオーケストラの演奏会に2ヶ月連続して呼んでくれたということもありました。テレビでしか聴いたことはないのですが、ルールや権威に囚われない面白い人なんですね。トルコの音楽祭に呼んでもらった時はあいにく会えなかったのが、今回お会いできたら、色々話したいですね。

— 今回は、一部が三浦一馬さん達による「タンゴmeetsジャズ」、二部がファジル・サイさんの「クラシックmeetsジャズ」、そして最後は山下さん、大谷さん、大倉さんによる「ジャズmeetsジャパン」と盛りだくさんです。三浦さんのタンゴも楽しみですね。

大谷：三浦さんとは、MCを務めさせていただいているBS日本の番組『おながく交差点』で一緒したことがあって、とても柔軟な方だなと思いました。私はまだ、山下さんの影響を受ける前だったので、まあいわゆるクラシック奏者だったと思いますが、とても寄り添って演奏してくださって。なので、今回の組み合わせは個人的にも楽しみです。

— 山下さんは【ジャズ・アカデミー】で、ジャズ入門講義も開催されますね。

大谷：予備知識を頭に入れていただいて、次はコンサート会場で心で感じていただくと、また感動が違うと思います。山下さんに直接教えていただける貴重なチャンスですよ。

— 大谷さんは、川崎市民文化大使も務めていらっしゃいます。川崎という街の面白さとはなんなのでしょう？

大谷：川崎は、「音楽のまち・かわさき」というスローガンを掲げて以来、イメージが大きく変わったと思います。川崎中の色々な場所にホールがあって、街中に音楽が溢れています。そしてジャンルを超えた音楽を聴くことができる街だと思います。今回のフェスティバルも、11月11日から20日まで、色々な会場でライブが行われますので、その時にしか味わえない、その場でしか聞けない音楽を是非体験していただきたいです。

山下：この機会に、音楽というものの幅の広さや、音楽の楽しみ方の幅広さを受け取っていただきたいですね。そうすると、すごく豊かな時間を過ごしていただけると思います。

大谷：演奏する私達もですが、聴きにきてくださる方も、「この曲は、どういう意味なのか？」って頭で理解しようとしなくて、自分自身の“心”を素直に解放して聴いていただきたいですよ。

山下：そうですね。ジャズは、いつもその場でしか起こらない即興が繰り広げられています。同じように、楽譜を見る音楽だとしても同じ時間は二度とありません。そういう生の音楽の貴重さを感じられると、音楽がもっと面白くなるのではないのでしょうか。



山下洋輔さん、大谷康子さん出演公演

「ブランド・フィナーレ ジャズ travels ワールド」

11月20日(日)17:00開演

第1部 タンゴmeetsジャズ

三浦一馬(バンドネオン)

石田泰尚(ヴァイオリン)、黒木岩寿(コントラバス)、
大坪純平(エレキギター)、BABBO(ピアノ)

第2部 クラシックmeetsジャズ

ファジル・サイ(ピアノ)

第3部 ジャズmeetsジャパン

山下洋輔(ピアノ)、大谷康子(ヴァイオリン)
スペシャルゲスト／大倉正之助(大鼓)

◎ ¥7,000 ▲ ¥6,000 ■ ¥5,000

お申込み・お問い合わせ
ミューザ川崎シンフォニーホール
044-520-0200(10時～18時)

チケット
好評
発売中!

かわさきジャズ2016 ～ジャズは橋を架ける～

2016年11月11日(金)～20日(日)

詳しくは公式サイトをご覧ください。

かわさきジャズ

検索

ミュージア川崎シンフォニーホールのお薦め公演

申込み・お問合せ◎ミュージア川崎シンフォニーホール ☎044-520-0200 (10:00~18:00)

ホールアドバイザー 小川典子企画

Noriko's Day vol.4

ハロウィーン・パーティー & BAR 黒猫

2016年10月22日(土) 14:00開演

(13:00開場、16:10頃終演予定)
アンコール・コンサート終演は、17:15頃の予定

開演前と終演後に2階ドリンクコーナーにて、
BAR 黒猫がオープン(ピアニスト:村崎 楓)

全席指定4,000円 学生(小学生~25歳以下の学生)1,500円
(ともに1ドリンク付き)

※学生券は、ミュージアのチケットカウンターと
電話予約のみの販売となります。

ピアノ 小川 典子 ゲスト 長谷川 初範



Noriko's Message

4回目のNoriko's Dayは、ミュージアをハロウィーン・パーティー会場に見立て、100年前に盛り上がったバリのBAR 黒猫をロビーに再現して皆さまをお迎えいたします。リサイタルの前半は、ミュージアが誇るスタインウェイのコンサートグランドで、没後記念の大作作曲家たちが遺した名作の数々を、後半は生誕150周年のサティの作品を、貴婦人のように美しい1890年フランスのエラール社製のピアノの音色でお楽しみください。ゲストに俳優の長谷川初範さんをお迎えし、サティの風変わりな人生を表情豊かに語っていただきます。
アンコール・コンサートもNoriko's Dayならではの企画。アマチュア・ピアニストたちの温かい音色をお届けします。そしてなんといっても10月はハロウィーンです。皆さまと一緒にドレスアップして、ミュージアをより華やかなパーティー会場にしませんか。皆さまのお越しを、楽しみにお待ちしております。

第1部

小川典子 ハロウィーン・ピアノ・リサイタル ~没後記念の大作作曲家を偲んで~

- 没後120年 クララ・シューマン: ♪4つのボロネーズ作品1
- 没後130年 フランツ・リスト: ♪巡礼の年 第1年 スイスより オーベルマンの谷
- 没後20年 武満徹: ♪閉じた眼II
- 没後160年 ロベルト・シューマン: ♪幻想曲 ハ長調 作品17

第2部

サティ生誕150周年 巴里BAR 黒猫の再現 ゲスト:長谷川初範(語り)

- サティ: ♪ジムノペディ ♪グノシエンヌ ♪あなたが欲しい ほか
演奏に合わせ、長谷川初範さんがサティの人となりをお話します。音楽と語りが織りなす美しい世界へ。

アンコール コンサート

アンコール・コンサート ~アマチュアピアニストたちによる、サティ演奏~

- 小川さんのレッスンを受けたアマチュア・ピアニストたちが成果を披露。



長谷川初範

皆さまへ お願い

- * ぜひドレスアップしてご来場ください。コスチュームでご来場のお客様には、ハロウィーンのお土産をプレゼントします。お楽しみに!
- * 音や光の出るものは、鑑賞の妨げとなりますので、持ち込まないようにご協力をお願いいたします。また、演奏中のかぶりものや肩幅・裾の広いものはご遠慮ください。ホール内での着替えはできません。別途、着替え場所(企画展示室)をご用意していますので、ご利用ください。

主催:ミュージア川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ) 後援:一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(ビティナ) 助成:文化庁平成28年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業





ジョナサン・ノット

ミューザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団

名曲全集第121回

東響創立70周年記念ヨーロッパ公演のプログラムを川崎で!

10月8日(土) 14:00開演(開場13:30) S席7,000円 A席6,000円 B席4,000円 C席3,000円

指揮:ジョナサン・ノット 管弦楽:東京交響楽団

♪プログラム

武満徹:弦楽のためのレクイエム ドビュッシー:交響詩「海」 ブラームス:交響曲 第1番

良席は
お早めに!



ミューザで楽しむクリスマス・大晦日・お正月



MUZA パイプオルガンクリスマスコンサート2016

Fantastic Pipes

ミューザで迎える特別なクリスマス。
この時期にぴったりの名曲がポップに、しっとりと彩られます。

12月23日(金・祝) 15:00開演(開場14:30)

S席3,000円 A席2,000円

パイプオルガン:山口綾規 ピアノ:田代ユリ トロンボーン:清水真弓

♪プログラム

バーバー:「きよしこの夜」によるコラール前奏曲
J.S.バッハ:前奏曲とフーガ ハ長調 BWV 547
いずみたく:見上げてごらん夜の星を
チャイコフスキー:「くるみ割り人形」より ほか

発売中!



山口綾規



田代ユリ



清水真弓

ミューザ ジルベスターコンサート2016

年越し前に、ご堪能あれ!

今年のジルベスターはベートーヴェンとシュトラウス!

12月31日(土) 15:00開演(開場14:30) S席7,000円 A席6,000円 B席5,000円 C席4,000円

指揮:井上道義
バリトン/司会・構成:大山大輔
ソプラノ:小林沙羅
メゾソプラノ:森山京子
テノール:西村 悟
ピアノ:中桐 望
管弦楽:MUZAジルベスター管弦楽団



井上道義



大山大輔



小林沙羅



森山京子



西村 悟

♪プログラム

ベートーヴェン:序曲「コリオラン」 劇音楽「エグmont」序曲 J.シュトラウスII:皇帝円舞曲
ヨーゼフ・シュトラウス:鍛冶屋のボルカ ベートーヴェン:交響曲第9番「合唱付き」より第3・4楽章 ほか

9月20日
一般発売!

MUZA ニューイヤー コンサート2017

スペイン、フィレンツェ、ブエノスアイレス——コンサートマスターと行く、お正月の音楽旅行!

2017年1月3日(火) 14:00開演(開場13:30) 全席指定3,500円

ヴァイオリン:グレブ・ニキティン(東京交響楽団コンサートマスター)
弦楽合奏:東京交響楽団室内合奏団

♪プログラム

エルガー:組曲「スペインの貴婦人」(パーシー・ヤング編集・編曲)
ピアソラ:ブエノスアイレスの四季(弦楽合奏版)
チャイコフスキー:フィレンツェの想い出



東京交響楽団室内合奏団



グレブ・ニキティン

9月26日
一般発売!

2016年
10月

コンサートカレンダー CONCERT CALENDAR

ミューザ川崎シンフォニーホール

「10月の催し」

*チケット料金、残席情報等は各公演の
お問い合わせ先までお尋ねください。

2日
13:30

水星交響楽団 第54回 定期演奏会

指揮: 齊藤 栄一 オルガン独奏: 大木 麻理

パッサ(エルガー編): 幻想曲とフーガ ハ短調 BWV537 / エルガー: 独創主題による変奏曲「エニグマ」Op.36 (ホグウッド校訂によるペーレンライター原典版) ほか

お問合せ: 090-1608-5749(植松)

主催公演
8土
14:00

名曲全集 第121回 ヨーロッパ公演を川崎で

指揮: ジョナサン・ノット

武満徹: 弦楽のためのレクイエム / ドビュッシー: 交響詩「海」 / ブラームス: 交響曲 第1番 ハ短調 作品68

主催公演
9日
18:00

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 全席完売

指揮: ズービン・メータ

モーツァルト: 歌劇「ドン・ジョヴァンニ」序曲 / ドビュッシー: 交響詩「海」 / シューベルト: 交響曲第8番「グレイト」

主催公演
10月
10:30/14:30

ミューザ川崎市民吹奏楽祭2016

演奏: 川崎市吹奏楽連盟加盟団体・川崎市内の職場・一般吹連加盟団体・川崎市内小・中・高等学校

15土
13:30

筑波大学管弦楽団 第80回 記念定期演奏会

指揮: 小田野宏之 ソリスト: 三浦章宏(ヴァイオリン)

J.ブラームス: 交響曲第4番 ホ短調 Op.98 / F.メンデルスゾーン: ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 Op.64 / J.シュトラウスII世: 喜歌劇「こうもり」序曲

お問合せ: 宣伝担当(神谷)
080-9387-9831

16日
14:00

慶應義塾ワグネル・ソサイエティー・オーケストラ第219回 定期演奏会

指揮: 高関 健

デュカス: 交響詩「魔法使いの弟子」 / ヒンデミット: ウェーバーの主題による交響的変容 / ブルックナー: 交響曲第4番 変ホ長調「ロマンティック」

お問合せ: 070-6477-1051
(定期演奏会マネージャー馬場)

主催公演
22土
14:00

Noriko's Day Vol.4 ハロウィーン・パーティー&BAR 黒猫

ピアノ: 小川典子 ゲスト: 長谷川初範(語り)*第2部のみ, 6人のアマチュアピアニスト*第3部のみ

【第1部】ハロウィーン・ピアノ・リサイタル 没後記念の大作曲家を偲んで / 【第2部】サティ生誕150周年 巴里BAR黒猫の再現 / 【第3部】アンコール・コンサート

23日
13:30

ミューザ川崎ホリデーアフタヌーンコンサート2016後期

「超絶のカンパネラ」青柳晋 ピアノ・リサイタル

ピアノ: 青柳 晋

《オール・リスト・プログラム》超絶技巧練習曲集より 第11番「タペの調べ」/ 巡礼の年 第2年補遺「ヴェネツィアとナポリ」〜ゴンドラを漕ぐ女、カンツォーネ、タランテラ ほか

お問合せ: 神奈川芸術協会
045-453-5080

主催公演
27木
12:10

JFE Presents MUZAランチタイムコンサート10月

ドイツ・ロマン派の響きII

パイプオルガン: 北村あゆ美 トランペット: ヨアヒム・カール・シェーファー

メンデルスゾーン(シュテックメスト編): 「歌の真に」による幻想曲 / ワグナー(ルメア編): 歌劇「タンホイザー」序曲 * ほか

*: オルガンソロ

主催公演
27木
19:30

JFE Presents MUZAナイトコンサート60

ドイツ・ロマン派の響き ~パイプオルガン&トランペット~

パイプオルガン: 北村あゆ美 トランペット: ヨアヒム・カール・シェーファー

カルク=エレルト: 太鼓やシンバルをもって 主をほめたたえよ〜ヘンデル風に / メンデルスゾーン: オルガンソナタ第2番* / ワグナー(ルメア編): 歌劇「タンホイザー」序曲 * ほか

*: オルガンソロ

28金
19:00

神奈川フィル 名曲への招待「コンチェルト & Concerto & Konzert!!!」

指揮: 現田茂夫 管弦楽: 神奈川フィルハーモニー管弦楽団 弦楽四重奏: ウェルズ弦楽四重奏団

ヘンデル: 合奏協奏曲Op.6, No.7, HWV325 / シェーンベルク: 弦楽四重奏と管弦楽のための協奏曲 変ロ長調 / バルトーク: 管弦楽のための協奏曲 Sz.116

お問合せ: 神奈川芸術協会
045-453-5080

29土
14:00

サンライズコーラス 創立7周年記念演奏会

指揮: 河野和子

高田三郎: 女声合唱組曲「水のいのち」 / アカペラ曲「こきりこ」「君をのせて」ほか / 賛助出演 CLOVER LOVERS「われもこう」「秋のピエロ」ほか

お問合せ: 044-511-3947(矢崎)
03-5383-5674(大野)

30日
13:30

第9回 アミーチ・デル・カント 146

指揮: 片野秀俊 管弦楽: 東京フォルトゥーナ室内管弦楽団 ソプラノ: 吉田珠代 アルト: 谷地畝晶子 テノール: 与儀 巧 バリトン: 大沼 徹

ピアノ: 古川佳園、前田勝則 オルガン: 坂戸真美 モーツァルト: レクイエム KV626 / 佐藤亮子編: 女声合唱とピアノによる日本の歌「四季を綴る」ほか

お問合せ: 080-4111-6825(根岸)

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

お問い合わせ: ミューザ川崎シンフォニーホールチケットセンター

Tel. 044-520-0200 (10:00-18:00)

ミューザ川崎シンフォニーホール

川崎市幸区大宮町1310 JR川崎駅西口直結





東海道 かわさき宿交流館

TOKAIDO KAWASAKI SHUKU KORYUKAN



本橋成一 写真展 「築地魚河岸ひとの町」

1980年初頭から、東京・築地市場に生きる人びとの姿とその背景を、写真家 本橋成一がとらえた写真展です。

日時: 9月30日(金)～10月30日(日) 9:00～17:00

※月曜日休館(但し、10月10日は開館、11日は休館)

料金: 無料 会場: 東海道かわさき宿交流館 3階企画展示室

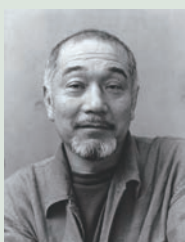
主催: 東海道かわさき宿交流館

◆本橋成一 スライドトーク 「築地魚河岸ひとの町」

日時: 9月30日(金) 14:00～16:00(開場: 13:30)

料金: 無料 定員: 80名(事前申し込みなし)

会場: 東海道かわさき宿交流館 4階集会室



本橋 成一(もとはし せいいち)

1968年「炭鉱くヤマ」で第5回太陽賞受賞。

以後、上野駅、サーカス、屠場など市井の人々の生きざまを写真に撮り続ける。

1998年『ナージャの村』で第17回土門拳受賞。同名のドキュメンタリー映画を初監督。

主な写真集に「炭鉱くヤマ」(海鳥社)、「サーカスの時間」(河出書房新社)。

「上野駅の幕間」(平凡社)、「無限抱擁」(西田書店)、「昭和藝能東西」(オフィスエム)、「屠場くたば」(平凡社)、「在り処」(NOHARA)など。

江戸時代の粋に遊ぶその22

ほうかん

「幫間(太鼓持ち)」

その昔、江戸の色街で最高の権威を誇る吉原に遊ぶ旦那衆を相手に、即興的な、しかも上質の芸を披露していた幫間。俗にいう太鼓持ち。

花柳界に伝わる江戸の座敷芸をお楽しみください。

日時: 10月15日(土) 14:00～(開場: 13:30)

料金: 1,500円 定員: 先着80名(自由席)

会場: 東海道かわさき宿交流館 4階集会室

出演: 櫻川七好

櫻川 七好(さくらがわしちこう)

昭和49年 劇団「展望」入団

昭和53年 劇団「展望」退団

劇団「民衆舞台」入団

昭和57年 劇団「民衆舞台」退団 以後、フリーで他劇団客演

平成 5年 悠玄亭玉介一門である櫻川米七に弟子入り

平成 6年 東京浅草見番よりお披露目を果たし、現在に至る



櫻川七好

子どもや家族向けのイベントが目白押しの夏休み。
各施設で、楽しい公演・ワークショップなどを開催しました。

第37回 かわさき演劇まつり 音楽劇「ブンナよ、木からおりてこい」

1972年に始まった「かわさき演劇まつり」。子どももおとなも楽しめる演劇を、市内の演劇関係者と市民が力を合わせて作り上げてきました。

今回は、名作児童文学「ブンナよ、木からおりてこい」(原作 水上勉)を、歌やダンスを取り入れたミュージカル形式で上演しました。

市内で活動する5団体と、公募の市民を含む10代から90代までの出演者が、約4ヶ月間の稽古を経て本番を迎え、舞台を通して命の尊さを訴えました。

宮前平のダンス教室「楽喜楽kids」の子どもたちによるダンスと、ピアノとパーカッションによる生演奏の音楽も感動を誘い、全3公演で1000人近くの来場者を迎えました。

弱肉強食の厳しい世界や、動物たちの死を前にした心の葛藤を懸命に表現した出演者や制作者たちの想いはきっと、鑑賞した子どもたちの心に届いたことでしょう。

【お客様の声より】

- ブンナのセリフが、心がすごくこもっていてとっても良かったです。動物を大切にしようとおもいました。(小学生)
- あらすじを知っていたが、正直小学生の子どもと見るのは勇気が必要だった。でも一緒に観られたことをとても感謝している。親子でとても感動した。(40代)



撮影 山村 巖

(7月23・24日 多摩市民館)

第26回 夏休み能楽体験・鑑賞教室

日本の伝統芸能である「能」を全身で体感できる3日間の体験教室を行いました。

今回は、3歳から85歳までの合計150名が体験と鑑賞に参加しました。

初日は体験をより楽しんでもらうため、まずは「能」について知ってもらおうと、能の歴史や装束・面・楽器について、観世流能楽師の鶴澤久さんが解説。

2日目は、仕舞・謡・笛・小鼓・大鼓の実技体験。小さな子どもたちも、驚くほど上手に能楽師たちの真似をして、能の動きや謡、楽器の演奏を楽しんでいました。

最終日は、能「鵜」の鑑賞。約70分と長い演目でしたが、子どもたちが集中力を保ち、キラキラした目で真剣に舞台を見つめていたのが印象的でした。

【参加者の声より】

- 謡の意味がわかると面白かった。(小4)
- 小鼓がたのしかったです。(小2)
- 能について全く知らなかったのでお話、体験とも非常に興味深かった。今回は子供の付き添いだったが次回自分も参加したい。(保護者)



(7月24・28・30日 川崎能楽堂)

夏ラボ2016

～きみが新しい音のクリエイターだ!～

東芝未来科学館との共催で子どもたちに「音楽と科学の実験室」となるイベントを行いました。体の動きをパソコンのカメラに映すことで演奏できる「KAGURA」はどんな人でも演奏できる新しい楽器。KAGURAのワークショップでは、パソコンを使って音楽アプリを作り、実際に演奏するところまで行いました。参加者全員が没頭し、個性的な音楽を創り上げていました。



(8月2日～7日 ミューザ川崎シンフォニーホール 企画展示室)

フェスタサマーミュージア KAWASAKI2016

東京交響楽団フィナーレコンサート



今年のサマーミュージアは過去最高の人出となりました!最終日はもちろん東京交響楽団。秋山和慶さんの指揮によるベートーヴェンの交響曲第7番で華やかなフィナーレとなりました。この日注目されたのが、N. シルクレット作曲のトロンボーン協奏曲。初演から50年も埋もれていた幻の名曲を中川英二郎さんの独奏で日本初演しました。ジャズやボサノバも聴こえる、古き良きアメリカ映画音楽のような世界に酔いしれました。

(7月23日～8月11日 ミューザ川崎シンフォニーホール)

シネマわくわくワークショップ 映画ワークショップ



川崎市アートセンターでは開館当初より小学生向けの映画ワークショップを開催しています。

今夏は『映画のはじまりに挑戦!』と題し、小学3～6年生の16名が夏休みの3日間の活動に参加。撮影はデジタルカメラを使用しますが、映画が発明された当時と同じ条件「1分間の固定カメラ」で作品をつくります。1日目は世界初の映画作品『工場の出口』(リュミエール兄弟)の再現。2日目はグループで1作品を制作後、1人1作品を撮影しました。3日目は映像館で完成作品の上映会。上映後に映写室を見学しました。

子どもたちは、身近な芸術「映像」について、新たな発見をすることができたようです。

(7月30・31日、8月15日 川崎市アートセンター)

アートガーデンかわさき



貸館案内 絵画、彫刻、造形、工芸、写真をはじめとするジャンルを超えたアートの発表の場です。自由に空間を演出していただけます。

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町12-1 タワーパーク3F
TEL.044-200-1415 FAX.044-222-8817
<http://www.kbz.or.jp/facility/artgarden/>
【アクセス】JR川崎駅東口より徒歩2分・京急川崎駅より徒歩2分



ミュージア川崎シンフォニーホール

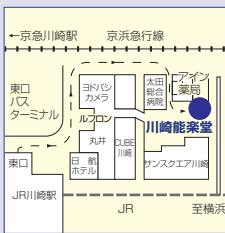


貸館案内 音楽ホール正面入口の向かいに位置する音楽工房は、ピアノの発表会、講演会、音楽練習、絵画等の創作活動の発表等、用途に応じてご利用いただけます。

〒212-8557 川崎市幸区大宮町1310
TEL.044-520-0100 FAX.044-520-0103
<http://www.kawasaki-sym-hall.jp/>
【アクセス】JR川崎駅西口より徒歩3分、京急川崎駅より徒歩8分



川崎能楽堂

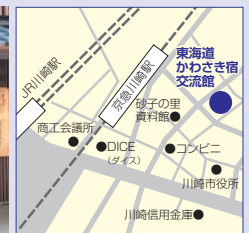


貸館案内 邦楽を中心に創意を生かしたパフォーマンスの稽古、発表、鑑賞の場としてご利用いただけます。

〒210-0024 川崎市川崎区日進町1-37
TEL.044-222-7995 FAX.044-222-1995
<http://www.kbz.or.jp/facility/noh/>
【アクセス】JR川崎駅東口より徒歩5分



東海道かわさき宿交流館



貸館案内 4階の集会室・談話室は、ふれあいネット(川崎市公共施設利用予約システム)にて利用予約が可能です。

〒210-0001 川崎市川崎区本町1丁目8番地4
TEL.044-280-7321 FAX.044-280-7314
<http://www.kawasakishuku.jp/>
【アクセス】京急川崎駅より徒歩4分、JR川崎駅東口より徒歩9分



ラゾーナ川崎プラザソル



貸館案内 可動式ひな壇を使用したり、舞台と客席を自由に設定したりと、様々な催し物に対応。機材も充実、お客様の構想を基に、理想の空間づくりをお手伝いいたします。

〒212-8576 川崎市幸区堀川町72-1 ラゾーナ川崎プラザ5F
TEL.044-874-8501 FAX.044-520-9151
<http://www.plazasol.jp/>
【アクセス】JR川崎駅西口より徒歩5分



川崎市アートセンター



貸館案内 アルテリオ小劇場では、演劇やミュージカル、コンサート、ダンス、発表会、セミナーなど様々な形態での利用が可能です。

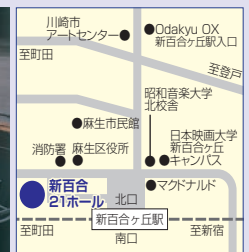
〒215-0004 川崎市麻生区万福寺6-7-1
TEL.044-955-0107 FAX.044-959-2200
<http://kawasaki-ac.jp/>
【アクセス】小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分



新百合トウェンティワンホール

貸館案内 450名収容の多目的ホールは、講演会、発表会、展示会、展示即売会、ギャラリーなど多彩な利用が可能です。

〒215-0004 川崎市麻生区万福寺1-2-2 新百合21地下2階
TEL.044-952-5000 FAX.044-952-1350
<http://shinyuri21hall.jp/>
【アクセス】小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩2分



公益財団法人 川崎市文化財団

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町12-1 タワーパーク3F
TEL.044-222-8821 FAX.044-222-8817 <http://www.kbz.or.jp/>



アートガーデンかわさき・市内ギャラリー・美術館等の展覧会情報

Event Calendar

●掲載情報は原則入場無料です。ただし、有料マークのある施設は入場料が必要な催し物の情報が含まれています。
●各施設とも、催し物の内容・会期・料金等が変更になる場合がございますので、ご確認の上ご来館ください。 = 休館日

2016.10

2016.10		1 Sat	2 Sun	3 Mon	4 Tue	5 Wed	6 Thu	7 Fri	8 Sat	9 Sun	10 Mon	11 Tue	12 Wed	13 Thu	14 Fri	15 Sat	16 Sun	17 Mon	18 Tue	19 Wed	20 Thu	21 Fri	22 Sat	23 Sun	24 Mon	25 Tue	26 Wed	27 Thu	28 Fri	29 Sat	30 Sun	31 Mon			
アートガーデンかわさき(川崎区) 川崎区駅前本町12-1 川崎駅前タワー・リパーク3F TEL.200-1415 【休館日】毎週月曜日		第1展示室	玉藻書道会創作展 ～10月2日(日)																第87回 川崎美術協会展 10月18日(火)～23日(日)								日韓美術交流展 10月26日(水)～30日(日)								
		第2展示室	平林壮元 個展 油彩スケッチ 陽ざし溢れて ～10月2日(日)			第24回 秋水会書展 10月5日(水)～9日(日)							Glass in 展 2016 ～硝子の和～ 10月12日(水)～16日(日)				第87回 川崎美術協会展 10月18日(火)～23日(日)								日韓美術交流展 10月26日(水)～30日(日)										
		第3展示室				第24回 秋水会書展 10月5日(水)～9日(日)							Glass in 展 2016 ～硝子の和～ 10月12日(水)～16日(日)				第87回 川崎美術協会展 10月18日(火)～23日(日)								日韓美術交流展 10月26日(水)～30日(日)										
幸市民館市民ギャラリー(幸区) 幸区戸手本町1-11-2(幸文化センター内) TEL. 541-3910 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		第35回 静友会書道展 ～10月5日(水)												第36回 幸区民祭 10月15日(土)～16日(日)																					
中原市民館市民ギャラリー(中原区) 中原区新丸子東3-1100-12 パークシティ武蔵小杉ミッドスカイトワー1、2階 TEL. 433-7773 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		小杉陶芸研究会 陶芸展 ～10月5日(水)						手づくりTOY・BOX 絵画・造形作品展 10月7日(金)～12日(水)						サークルレットトライ 作陶展 10月14日(金)～19日(水) ※17日休館								第48回 中原区文化祭 10月22日(土)～26日(水)						第7回 中原区原爆展 10月28日(金)～11月2日(水)							
川崎市市民ミュージアム(中原区) 中原区等々力1-2(等々力緑地内) TEL. 754-4500 【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は開館)		企画展	昔のくらしと道具2016 ～10月16日(日)																																
			有料 旅する人びと ～東海道五十三次から世界へ～ 10月8日(土)～11月20日(日) 観覧料：一般500円、65歳以上・大学生・高校生400円、中学生以下無料																																
		アート ギャラリー	青年マンガの世界、山岳写真展、ベスト・セレクションー世界旅行に出かけよう 10月8日(土)～12月11日(日)																																
		博物館 展示室	「近代・現代」 特集展示「伝染病と地域政治」 ～11月18日(金)																																
マンスリー展示「旅する幸豊 ー砂糖の普及をめざしてー」 10月1日(土)～10月28日(土)																																			
高津市民館市民ギャラリー(高津区) 高津区溝口1-4-1 ノクティ2(12F) TEL. 814-7603 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		第11回 花友禅作品展 10月1日(土)～5日(水)						清舟書院展(書道展) 10月7日(金)～12日(水)						高津区美術公募展'16 10月14日(金)～19日(水) ※17日休館						愛あむニット 10月21日(金)～23日(日)								高津みずえ会 水彩画展 10月28日(金)～11月2日(水)							
宮前市民館市民ギャラリー(宮前区) 宮前区宮前平2-20-4 TEL. 888-3911 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		東京第四友の会宮前方面 作品展 ～10月3日(月)						糸書道会作品展 10月7日(金)～9日(日)						第35回宮前区民祭 10月16日(日)						みやまえ子育てフェスタ2016 10月22日(土)								あおぞら工房と子どもたち展 10月28日(金)～11月3日(木・祝)							
多摩市民館市民ギャラリー(多摩区) 多摩区登戸1775-1(多摩区総合庁舎内) TEL. 935-3333 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		第15回たまフォトグループ写真展 ～10月5日(水)						植物画同好会 多摩・麻生 ボタニカルアート展 10月7日(金)～12日(水)						華写真道場 写真展 10月14日(金)～19日(水) ※17日休館						ほっとFoto 第四回写真展 10月21日(金)～26日(水)								多摩区老人クラブ連合会 趣味の作品展 10月28日(金)～11月2日(水)							
川崎市岡本太郎美術館(多摩区) 多摩区枳形7-1-5 TEL.900-9898 【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は開館)		企画展	有料 企画展「鉄道美術館」展The Railway Art Museum ～10月10日(月・祝) 観覧料：一般1,000円、高・大学生・65歳以上800円、中学生以下無料																		有料 企画展「つくることは生きること 震災《明日の神話》」展 10月22日(土)～2017年1月9日(月・祝) 一般900円、高・大学生・65歳以上700円、中学生以下無料														
		常設展	有料 常設展「岡本太郎ー主題と文脈」展 ～10月10日(月・祝) 観覧料：一般1,000円、高・大学生・65歳以上800円、中学生以下無料														有料 常設展「太郎の眼玉ダンジョン」展 10月14日(金)～2017年1月9日(月・祝) 観覧料：一般500円、高校・大学生・65歳以上300円、中学生以下無料 *企画展開催期間中は、企画展とのセット料金に変わります。																		
麻生市民館市民ギャラリー(麻生区) 麻生区万福寺1-5-2 TEL. 951-1300 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		アトリエ アヅ麻生 フランス額装と額縁 ～10月5日(水)						第34回あさお区民まつり 絵画展 10月7日(金)～12日(水)						パステルアートを楽しむ会 作品展 10月14日(金)～16日(日)								写新会 写真展 10月21日(金)～26日(水)						麻生区文化協会文化祭 美術工芸展 10月28日(金)～11月2日(水)							

(注)会期、時間等は各団体により、変更になることがありますので、ご確認の上ご来場ください。

川崎市市民ミュージアム〈中原区〉

企画展

昔のくらしと道具2016

開催中～10月16日(日)

観覧料:無料

日常生活に欠かせない衣食住にかかわる道具を中心に、昔の生活用具類を展示し、それらの道具のうつりかわりから人々のくらしの変化についてご紹介します。

昔の生活空間の再現として囲炉裏や茶の間の再現模型、実際に昔の道具を体験できるコーナーも合わせて設置。また、特集展示として「わが家に「家電」がやってきた」を合わせて開催します。



ブラザー足踏みシン
(昭和30年代)

旅する人びと

～東海道五十三次から世界へ～
10月8日(土)～11月20日(日)

観覧料:一般500円

65歳以上・大学生・高校生400円
中学生以下無料

江戸時代から昭和初期にかけての旅の変遷を紹介します。当時の旅人が書き残した旅日記などから、具体的な旅の姿を展示します。



東海道分間延絵図(郵政博物館所蔵)

アートギャラリー

観覧料:無料

10月8日(土)～12月11日(日)

竹宮恵子監修 原画(ダッシュ)展示シリーズ 青年マンガの世界

原画(ダッシュ)とは、コンピュータにマンガ原稿を取り込み、綿密に色調整を重ねた上で印刷した、精巧な複製原画です。

平田弘史・ながやす巧・村上もとか3名の原画を元にした原画(ダッシュ)と、竹宮恵子の原画(ダッシュ)を展示します。



(左)◎ながやす巧
(中)◎平田弘史
(右)◎村上もとか

山岳写真展

5千円札(新渡戸稲造)に印刷された富士山の写真でも知られる岡田紅陽など、わが国の美しい山々を撮影した写真で日本の自然の素晴らしさを紹介します。

ベスト・セレクション ー世界旅行に出かけよう

当館のポスター、写真作品などの収蔵品を「世界旅行」という切り口で取り上げます。

博物館展示

観覧料:無料

川崎の考古・歴史・民俗について通史で展示

■「近代・現代」特集展示

「伝染病と地域政治」

開催中～11月18日(金)

コレラやチフスなど様々な伝染病が流行した明治時代の、川崎地域における被害や対応の様子を所蔵資料からふり返ります。

■マンスリー展示

「旅する幸豊 ー砂糖の普及をめざしてー」

10月1日(土)～10月28日(金)

池上新田を開発した池上幸豊は、幕府から砂糖の国産化を命じられます。サトウキビの栽培と白砂糖の製造に成功した幸豊は、その技術を各地に普及させるため、3度の旅に出ました。

この他にも上映・講座・イベント情報をホームページにてご案内しています。

中原区等々力1-2(等々力緑地内) TEL. 754-4500 FAX. 754-4533
【アクセス】武蔵小杉駅北口バス約10分、溝の口駅ノクティ側バス約20分
【開館時間】9:30～17:00(入館16:30まで)
【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は開館)、10/11(火)
http://www.kawasaki-museum.jp/

●ホームページ、Twitter、Facebookにて情報発信中



ホームページ



Facebook



Twitter



川崎市岡本太郎美術館〈多摩区〉

常設展／開催中～10月10日(月・祝)

「岡本太郎ー主題と文脈」展

企画展／開催中～10月10日(月・祝)

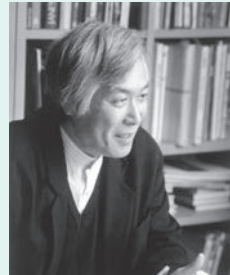
「鉄道美術館」展

The Railway Art Museum

一般1,000(800)円、高・大学生・65歳以上800(640)円、中学生以下無料

*カコ内は20名以上の団体料金

*企画展開催期間中は、企画展とのセット料金に変わります。



【鉄道美術館・関連イベント情報】

「鉄道デザインとヒューマニティ」

岡部憲明講演会

小田急線ロマンスカーをデザインした建築家・岡部憲明さんの講演会です。

講師:岡部憲明

(建築家・小田急ロマンスカーデザイン)

日時:10月2日(日) 14:00～15:00

場所:鉄道美術館展示室イベント会場

料金:展覧会観覧料のみ

予告 常設展／2016年10月14日(金)～2017年1月9日(月・祝)

「太郎の眼玉ダンジョン」展



《眼》1985年
油彩・キャンバス



《マスク》1985年
油彩・キャンバス



《眼の立像》1981年
油彩・キャンバス

岡本太郎が生涯にわたって執拗に描き続けた「眼玉」作品を特集します。油彩作品と併せてドローイングなども紹介し、太郎の鬼気せる「眼玉」の世界に迫ります！

2016年10月14日(金)～2016年10月21日(金)までは下記の常設展のみの展示料金

一般500(400)円、高校・大学生・65歳以上300(240)円、中学生以下無料

※()内は20名以上の団体料金

*企画展開催期間中は、企画展とのセット料金に変わります。

予告 企画展／2016年10月22日(土)～2017年1月9日(月・祝)

「つくることは生きること 震災《明日の神話》」展



岡本太郎《明日の神話》油彩・キャンバス1968年

地震によって引き起こされる多くの悲しみや苦しみの中で、創作や表現活動など、芸術やアートと呼ばれる活動は何ができるのか。

東日本大震災から5年を迎えた今年、東北の被災者や作家たちの作品、そして岡本太郎の代表作《明日の神話》を通してその可能性を問ひかけます。

2016年10月22日(土)～2017年1月9日(月・祝)まで

一般900(720)円、高・大学生・65歳以上700(560)円、中学生以下無料

*カコ内は20名以上の団体料金

多摩区枳形7-1-5 TEL.900-9898 FAX.900-9966

【アクセス】小田急線向ヶ丘遊園駅南口徒歩17分、北口バス約10分

専修大学前下車徒歩6分

【開館時間】9:30～17:00(入館締切16:30)

【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は開館)10/11(火)、12(水)、13(木)

http://www.taromuseum.jp

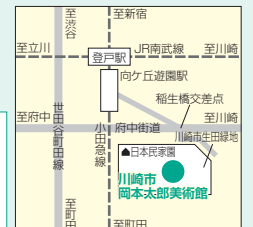
●ホームページ、
Facebookにて
情報発信中



ホームページ



Facebook



アルテリオ小劇場

しんゆりシアター

夏の夜の夢

作 W.シェイクスピア / 翻訳 松岡和子 / 演出 河田園子

神秘的な森で出会う人間たちと妖精たち。不思議で美しい一夜の夢の幕が開く。

ギリシャ・アテネの公爵シーシアスとアマゾンの女王ヒポリタは結婚式が間近に迫っている。ハーミアは父イジーアスの勧める許嫁ディミートリアスとの結婚を拒み、愛するライサンダーと駆け落ちすべく夜、森にむかうことに。ハーミアからそのことを聞いた親友ヘレナは片思いするディミートリアスにそれを伝えてしまう。それぞれ恋する人を追って森に向う若い恋人たち。

そこにシーシアスの結婚披露宴で演じる芝居を秘密裡に計画する職人たちや妖精の王オーベロンと女王ティターニア、いたずら好きの妖精パックや妖精たちが加わり、夜の森で交錯していく。森に集まる人間と妖精たちの滑稽で奇妙な一夜がはじまった。

シェイクスピアの喜劇の傑作であり、世界中で上演され続けている「夏の夜の夢」がしんゆりシアターに続いて登場。巧みな言葉遊びと美しく豊かなセリフが溢れる舞台をハープの生演奏が彩ります。贅沢で華やかな祝祭劇を小劇場空間でお楽しみください。



2016年10月15日(土)～23日(日) ※開場は開演の30分前

	15(土)	16(日)	17(月)	18(火)	19(水)	20(木)	21(金)	22(土)	23(日)
14:00		●	●	休演	★		●	●	●
19:00	●					●			

★アフタートークのご案内:19(水)終演後、劇場にてアフタートークを行います。当日ご観劇のお客様に限り、ご入場いただけます。

出演 / 松岡和子、河田園子 ほか

【出演者】 廣田高志、中地美佐子、保 可南、前東美菜子、形桐レイメイ、田中孝宗、斉藤祐一、前田一世、伊原 農、矢崎和哉、齋藤千裕、坂本岳大、小西萌子、坂口杏奈、光延真鈴
演奏: 高江洲愛(ハープ)

【チケット】 一般 3,800円 / 学生 2,000円(全席指定・税込)

第45回川崎市アートセンター

しんゆり寄席

2016年10月29日(土) 14:00開演 ※開場は開演の30分前

【出演者】 古今亭菊之丞、初音家左橋、林家ひろ木、春風亭一猿

【チケット】 一般 2,000円 / 学生 1,000円(全席自由・税込)

★大旦那衆チケット、プレミアムチケット★

年間10回の開催を予定している「しんゆり寄席」で、いつでもご利用頂けるセット券をご用意しました。お一人で毎月通うことも、ご友人と一緒でも、ご自由にお使い頂けます。

●大旦那衆チケット:10枚1組 12,000円 ●プレミアムチケット:4枚1組 6,000円

※有効期限は2017年3月公演までとなります。払い戻しは致しません。※WEBでのお取り扱いはありません。



古今亭菊之丞



初音家左橋

〈2016年度の予定〉11/26(土)、12/17(土)、1/28(土)、2/25(土)、3/25(土)

【お知らせ】 仲入りでは演者からのプレゼントが当たる抽選会を開催。何が当たるかは参加してのお楽しみ!

チケット取扱い:川崎市アートセンター

[窓口] 9:00～19:30(原則毎月第二月曜除く) [WEB] <http://kawasaki-ac.jp/th/>

[電話] 044-959-2255(9:00～19:30、土日祝・原則毎月第二月曜除く)

※学生チケットは窓口でのみ取扱い。要学生証提示。 ※未就学児のご入場はご遠慮下さい。

★お問合せ:川崎市アートセンター 044-955-0107 <http://kawasaki-ac.jp>

川崎市アートセンター
アルテリオ映像館

©Cartoon Saloon, Melusine Productions, The Big Farm, Superprod, Norlum

ソング・オブ・ザ・シー
海のうた

2014年/アイルランド、ルクセンブルク、ベルギー、フランス、デンマーク/カラー/1h33

監督:トム・ムア

出演:＜字幕版＞デビッド・ロウル/ブレンダン・グリーンソン/リサ・ハニガン/ルーシー・オコンネル

＜吹替版＞息子・ベン役:本上まなみ/父・コナー役:リリー・フランキー/母・プロナー役:日本語版テーマソング:中納良恵(EGO-WRAPPIN')

10/8 [土] ▶ 10/14 [金]

第87回アカデミー賞“長編アニメーション賞”のノミネートをはじめ、世界の映画祭を席捲したアイルランド・アニメーション。

ある日目を覚ますとお母さんは赤ちゃんを残して、海へ消えてしまった…6年がすぎ、お母さんが残した“うた”を頼りに、幼い兄弟ふたりの大冒険が始まる!アイルランド神話の壮大な物語を基に描く、心に響く、珠玉の家族の物語。

INTERVIEW

トム・ムア監督インタビュー

Q.映画の中の民話として

A.本作に登場する生き物やキャラクターは、海外の観客の方にとっては馴染みのないものかもしれませんが。アイルランド神話では、“セルキー”は人間に姿を変えることのできるアザラシとされています。セルキーが登場する民話は、往々にして海で誰かを亡くした悲しみにまつわるものです。マクリル(またはマナーン・マクリル)は、アイルランド神話に登場する海の神です。本作中でベンは、妹にマクリルの冒険の話を聞かせます。その物語から、彼らの家の近くの島に葬られたマクリルの悲しげな一面を見ることができます。伝説や民話は本作の軸となっています。シャナキーは、アイルランドの伝統的な語り部で、古い世代から話を習い、次の世代へと受け継いでいきます。どこでもそうですが、そうした伝統は失われつつあります。でも僕が子供の頃、アイルランドのTVで聞いていたシャナキーの一人が、エディー・レニハンという人で、彼は今日も語り継いでいます。彼は他の神話の登場人物をお話に加えたり、新しい解釈で現代的なひねりを加えたりしています。物語は神聖な古典として化石のようになってしまうと、死んでしまうのです。前の世代から受け継いだものを、生き続けさせるために現代の聴衆にあわせて変化させることが大切なのです。そこで、セルキーや海の神マクリル、グレイト・シャナキーといったアイルランド民話の要素を、本作に取り入れ、僕らが解釈した神話を新たな物語に紡いだのです。僕は観客が古い物語を調べたり、次の世代に向けて解釈し直したりするきっかけになればいいと思っています。新しい話の中でも、物語の核心が引き継がれているのを期待しています。

(宣伝用プレスシートより抜粋。校正・文責＝川崎市アートセンター 協力＝チャイルド・フィルム、ミラクルヴォイス)

[日曜最終回および月曜休映(祝日の場合は翌日に振替)]

栄光のランナー

1936 ベルリン

2016年/米、独、加/カラー/2h14

監督:スティーヴン・ホプキンス

出演:ステファン・ジェイムス、ジェイソン・サダイキス、ジェレミー・アイアンズ、ウィリアム・ハート

9/24 [土] ▶ 10/7 [金]



© 2016 Trinity Race GmbH / Jesse Race Productions Quebec Inc. All Rights Reserved.

1936年のベルリン・オリンピックは、ヒトラーによる国威発揚とアーリア人種の優越性を誇示する、はずだった。それを打ち破ったのは陸上競技4冠に輝いた黒人選手ジェシー・オーエンス。彼と白人コーチの絆を軸に、人種差別のなかで活躍した伝説の選手の半生を描く。

太陽のめざめ

2015年/フランス/カラー/1h59

監督:エマニュエル・ベルコ

出演:カトリーヌ・ドヌーヴ、ロッド・パラド、ブノワ・マジメル、サラ・フォレストイエ

10/1 [土] ▶ 10/21 [金]



© 2015 LES FILMS DU KIOSQUE - FRANCE 2 CINEMA - WILD BUNCH - RHONE ALPES CINEMA - PICTANOV

親の愛を知らず、心に傷を負い人生に迷う少年と引退間近の判事が出会い、新たな道を見つけるまでを描く感動の物語。主演にはフランスを代表する女優カトリーヌ・ドヌーヴ。監督・脚本を務めるのは、ドヌーヴが「素晴らしい才能。彼女の書く脚本は1行たりとも直す必要がない」と称えるエマニュエル・ベルコ。

あなた、その川を渡らないで

2014年/韓国/カラー/1h26

監督・撮影:チン・モヨン

出演:チョ・ピョンマン、カン・ゲヨル

10/1 [土] ▶ 10/14 [金]



© 2014 ARGUS FILM ALL RIGHTS RESERVED.

小さな村の川のほとりで暮らす結婚76年目の98歳のおじいさんと89歳のおばあさん。楽しいときも、つらいときも、いつも一緒にふたりで乗り越えてきた。ふたりの愛情あふれる丁寧な毎日を、美しい四季を通して描いたドキュメンタリー。韓国ドキュメンタリー映画史上最高の動員を達成し、社会現象ともなった話題作。

イレブン・ミニッツ

2015年/ポーランド、アイルランド/カラー/1h21

監督・脚本:イエジー・スコリモフスキ

出演:リチャード・ドーマー、ヴォイチェフ・メツフ、アルドフスキ

10/15 [土] ▶ 10/28 [金]



© 2015 SKOPIA FILM, ELEMENT PICTURES, HBO, ORANGE POLSKA S.A., TVP SA, TUMULT

午後5時に始まり5時11分に終わるリアルタイム・サスペンス。大都会に暮らすいわくありげで見ず知らずの人々に起こる11分間のドラマをモザイク状に構成した群像劇。運命のいたずらから導かれる衝撃的なクライマックスは必見。ポーランドの巨匠、イエジー・スコリモフスキ監督の全世界待望の最新作。

パコ・デ・ルシア

灼熱のギタリスト

2014年/スペイン/カラー&白黒/1h30

監督:クルー・サンチェス

出演:パコ・デ・ルシア、ジョン・マクラフリン、チック・コリア、カルロス・サンタナ

9/24 [土] ▶ 10/7 [金]



© Ziggurat Films

フラメンコからギターをソロ楽器として解き放ち、その超絶技巧で人々を魅了したパコ・デ・ルシア。ジャズ/フュージョンの世界でも、“スーパー・ギター・トリオ”の一員として世界的名声を得た彼の生涯を、長男である監督がまとめあげた音楽ドキュメンタリー。

シアター・プノンペン

2014年/カンボジア/カラー/1h45

監督:ソト・クォーリーカー

脚本:イアン・マスターズ

主演:マー・リネット、ソク・ソトゥン、ディ・サヴェット

10/1 [土] ▶ 10/14 [金]



©2014 HANUMAN COLTD

カンボジアの首都プノンペン。女子大生のソボンが廃墟のような映画館で見た古い恋愛映画。何とその主演女優は母だった。1975年からカンボジアを呑み込んだ暗黒の3年8ヶ月20日。1本の恋愛映画を軸に、クメール・ルージュの圧政を懸命に生きた人々の、半世紀近くにも及ぶ数奇な運命を描いた壮大なヒューマン・ドラマ。

めぐりあう日

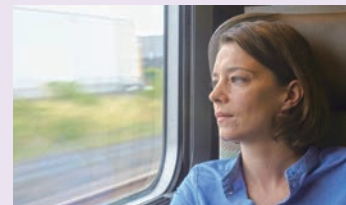
2015年/フランス/カラー/1h44

監督:ウニー・ルコント

脚本:ウニー・ルコント、アニエス・ドゥ・サシー

出演:セリーヌ・サレット、アンヌ・ブノワ、ルイ・ドゥ・ランクザン、フランソワーズ・ルブラン

10/8 [土] ▶ 10/21 [金]



©2015 - GLORIA FILMS - PICTANOV

パリで夫と8歳になる息子と一緒に住む理学療法士のエリザは産みの親を知らない。懸命に調査をするも、匿名で出産した女性を守る法律に阻まれ、実母にたどりつくことができない中、ついには自ら調査をするために出生地へ引越す。そこで偶然に出会った中年女性。30年の歳月を経て、見えない糸に手繰り寄せられる母と娘を待っていたものは…

アスファルト

2015年/フランス/カラー/1h40

監督・脚本:サミュエル・ベンシェトリ

出演:イザベル・ユベール、マイケル・ピット、ヴァレリア・ブルーニ・テデスキ

10/15 [土] ▶ 10/28 [金]



© 2015 La Camera Delux - Maje Productions - Single Man Productions - Jack Stern Productions - Emotions Films UK - Movie Pictures - Film Factory

舞台はフランス郊外にある、エレベーターの壊れたおんぼろ団地。不器用だが愛すべき6人の男女を軸に、平凡で孤独な日常に訪れるちょっぴりビターな“しあわせ”を描いた群像劇。キャストにはフランス映画界を牽引する女優イザベル・ユベール、ハリウッドから参加のマイケル・ピット、イタリア映画にもかかせないヴァレリア・ブルーニ・テデスキと豪華なキャストが集結。

毎月

第三火曜日
のお楽しみ

2016

ラゾーナ密席

10月18日(火) 17:30受付開始/18:00開場/18:30開演

※当日券は18:00から販売します

■会 場…ラゾーナ川崎プラザソル

〒212-8576 川崎市幸区堀川町72-1 ラゾーナ川崎プラザ5F

■出 演…三遊亭とん馬・桂米多朗・笑福亭羽光・桂伸力

■入場料…全席自由2,000円(終演後のおたのしみ“交流会”…希望者のみ・参加費1,500円)

■予約・お問合せ／ラゾーナ川崎プラザソル

電話 044-874-8501 FAX 044-520-9151

E-mail: info@plazasol.jp http://www.plazasol.jp



三遊亭とん馬

第8回

狂言全集

人間の悲しさ、おかしさ、愚かしさ。
狂言の哲学がここにある。

狂言全集とは…

現代に息づく伝統芸能であり、人間のおかしさ、悲しさ、愚かしさを笑いや風刺に包み込んで表現する狂言。そこで演じられる人間の本質は、現代にも通じるものがあります。現在上演されている狂言はおよそ200番。この狂言全集では、その主だったものをシリーズでお届けします。狂言が初めての方も、そうでない方も、伝統芸能の奥深さ、面白さを楽しんでいただける内容です。

2016年10月15日(土) 14:00開演(開場13:30)

会 場: 川崎能楽堂 入場料: 3,000円(全席指定)

「鬼 瓦」 山本泰太郎

「佐渡狐」 山本 則俊

「宗 論」 山本東次郎(人間国宝)

狂言のお話 山本東次郎

■チケット好評発売中

■チケット取扱・お問合せ 川崎能楽堂 TEL:044-222-7995 川崎市川崎区日進町1-37

■受付時間 窓口・電話 9:00~17:00*但し初日のみ電話受付は正午から。窓口完売の際は電話での受付はいたしません。

◎主催／(公財)川崎市文化財団 川崎市川崎区駅前本町12-1 川崎駅前タワー・リパーク3F TEL.044-222-8821/FAX.044-222-8817

*開演後はご入場いただけない場合がございます。また、出演者等変更になる場合がございますので予めご了承ください。なお、ご購入いただいたチケットのキャンセルや変更はできません。

「宗論」



公益財団法人 川崎市文化財団

かわさきアートニュースの制作には、川崎市文化振興基金が活用されています。

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町12-1(リパーク3F)
TEL.044(222)8821(代表) FAX.044(222)8817
http://www.kbz.or.jp
平成28年10月1日発行

川崎市文化財団

検索

◎印刷・製本／八幡印刷(株) TEL.044-542-2311